



ひいき人の部屋



2F

お帰りなさいと
優しく迎える部屋。
内蔵展示室の2階は、生野ゆかりの方々に、当時を懐かしんでいた
だく、名づけて『ひいき人の部屋』。
落ち着いた雰囲気の中で生野の
古い写真や映像を見ることができ
ます。生野におこしの際にお立
ち寄りいただければ「お帰りな
さい」とお迎えする懐かしい空間
です。レンタルスペースとしても
ご利用いただけます。



Izutsu-ya
Ikuno
Machizukuri
Kobo



内蔵展示室



蔵ギャラリー

ギャラリー
&
研修室

1F 蔵

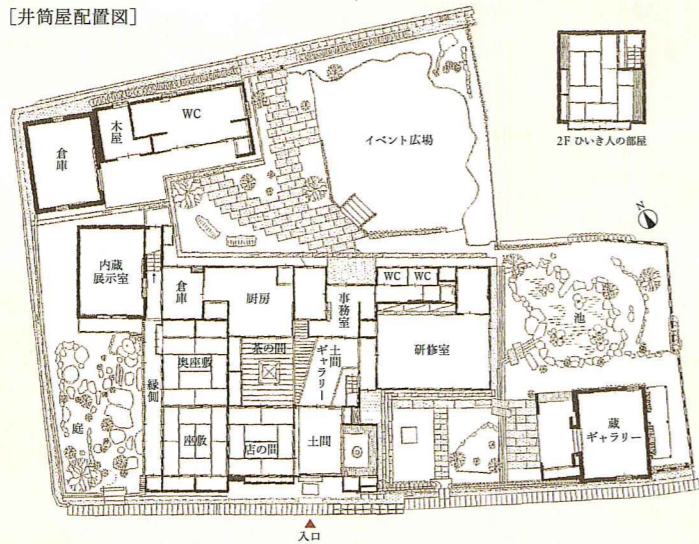


土間ギャラリー



研修室

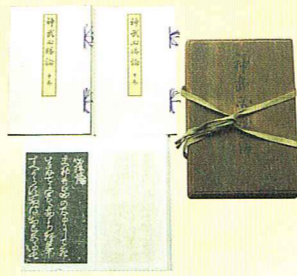
[井筒屋配置図]



2F ひいき人の部屋



大盛山々記(おおさかりやまやまき)・銀山秘録
大盛山々記は時代別に栄えた銀山の山々を記した書物。
銀山秘録は生野銀山の初期の様子を記した書物で、採掘
や製錬の方法、操業規則などが詳細に記録されている。



神武必勝論
神武必勝論は生野義拳総督の平野国臣
がこよりを文字にして著述した書。

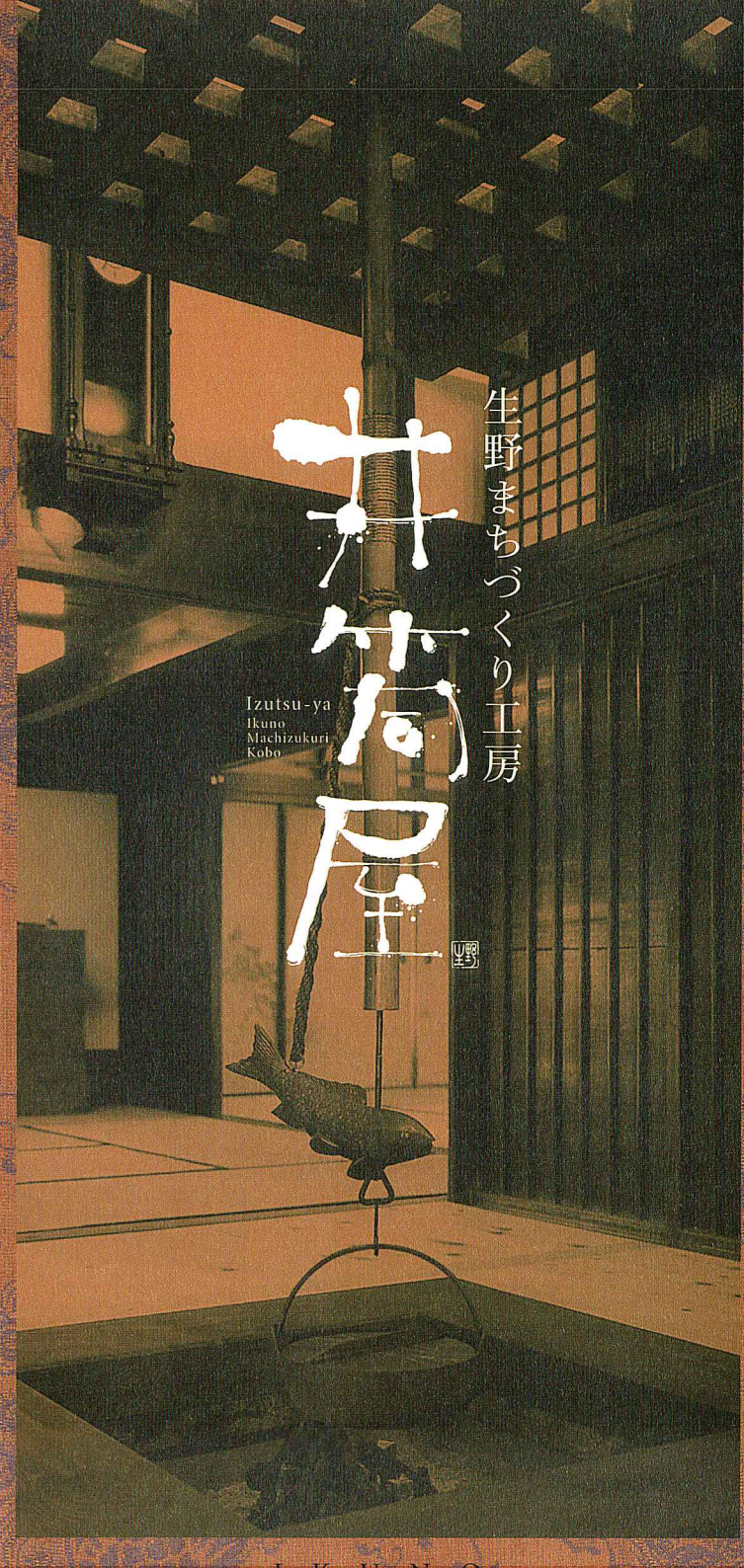


Izutsu-ya
Ikuno
Machizukuri
Kobo

羽倉外記一行の宿札
天保の改革で勘定吟味役
羽倉外記の一行が生野銀
山を訪ねたときの宿札。



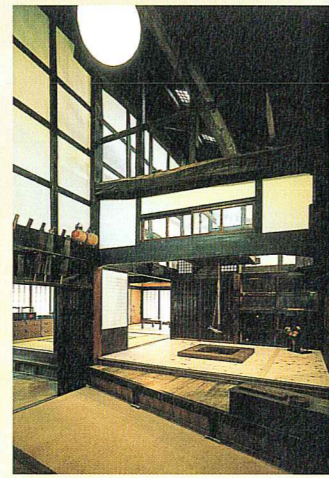
吉川家寄贈の史料展示。
内蔵には吉川家から寄贈された貴重
な品を展示しています。朝来市指定
文化財の神武必勝論(拓本)や天保
十四年に羽倉外記一行が訪れたとき
の宿札などの歴史的史料、生野町出
身の洋画家和田三造たちとの交流の
品々。また、何げない生活用品には
早くから海外の文化を好んだ吉川家
の暮らしの様子が彷彿されます。



井筒屋

生野まちづくり工房

Izutsu-ya
Ikuno
Machizukuri
Kobo



Izutsu-ya
Ikuno
Machizukuri
Kobo

生野銀山の郷宿が 時を重ねて再び甦る。

母屋は天保三年（1832年）の建築。生野独特の赤みが特徴の生野瓦に鳥の子色の土塀、竹製の大阪出格子など、生野の町家の伝統を色濃く残しています。鉱山関連施設として江戸期から現存する数少ない建物の一つで、平成17年に国の登録有形文化財に登録されました。

生野まちづくり工房井筒屋 落成の歩み

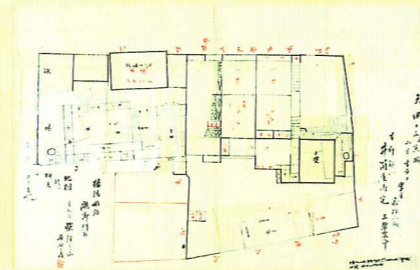
- 平成11年 3月 口銀谷地区の景観整備方針を作成
- 12月 吉川家から土地建物が寄贈
- 平成13年 3月 基本設計を住民参加で策定
- 6月 実施設計のプロポーザル選定を実施
- 平成14年 5月 改修工事の着手
- 平成15年 4月 吉川家から生野義拳関係書類、古文書、民具類等が寄贈
- 6月 生野まちづくり工房井筒屋として開館



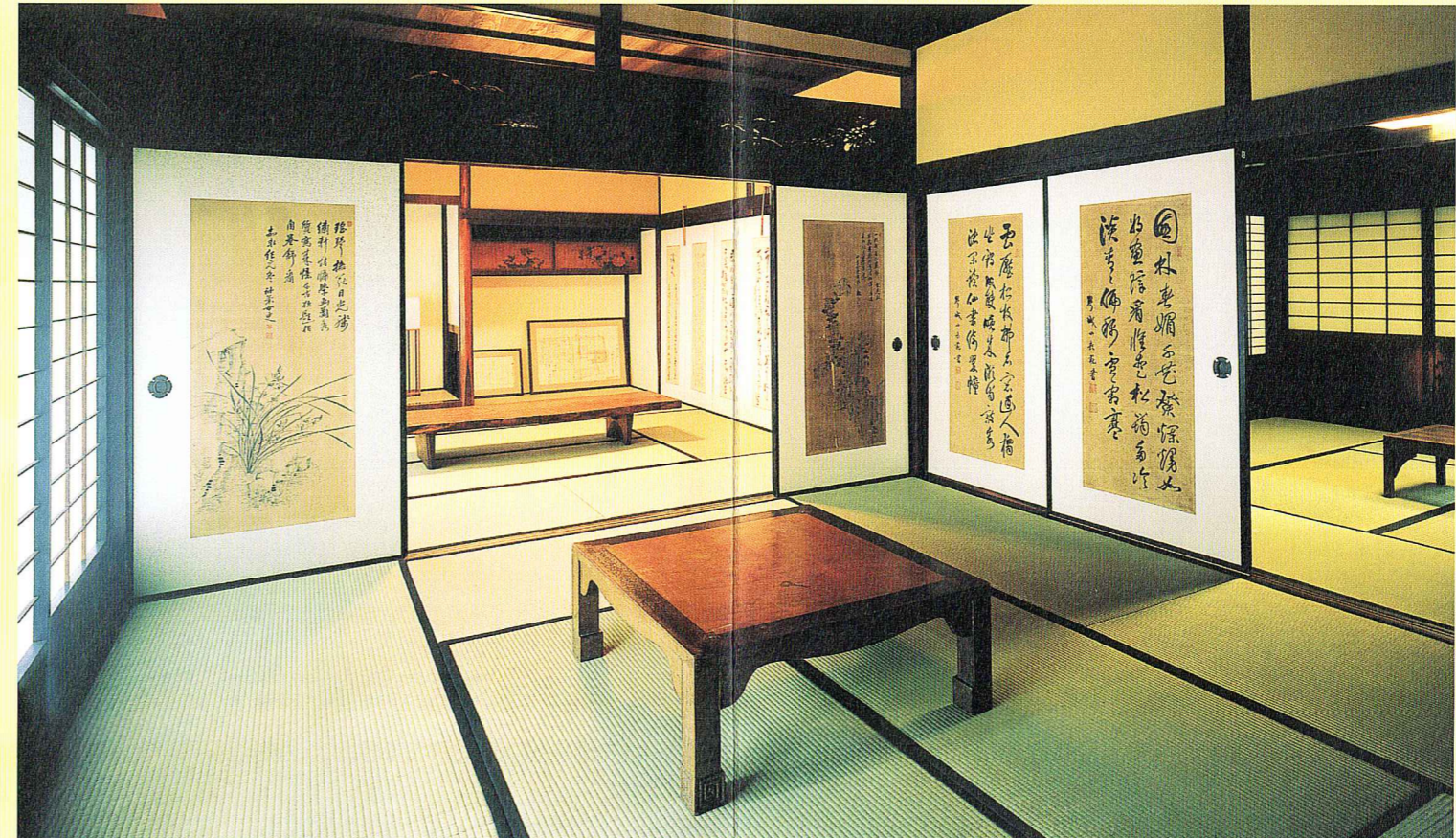
Izutsu-ya

山師と郷宿

母屋建築のときの棟札。「天保三年壬辰九月吉祥日」と記載されている。



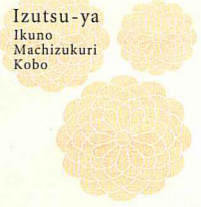
屋敷の家相図。「天保十三年」と記載されている。



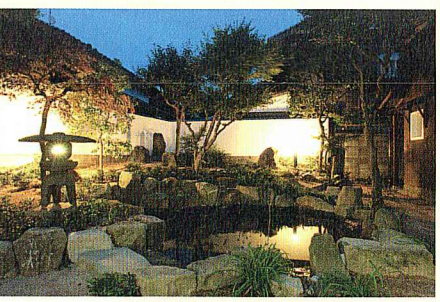
江戸時代、生野銀山では一般の旅人の宿泊は御法度でした。ただし、公用で代官所を訪れた際に、宿泊が必要になったときの宿として郷宿が設けられていました。生野銀山の有力な山師であった吉川家は、井筒屋の屋号で郷宿を営んでいました。郷宿の主人は、宿泊だけではなく代官所への訴状の代書や出頭時の付き添いなど、弁護士のような役割を果たしていたので、社会的にも信頼される存在でした。当時、生野銀山に6軒あった郷宿同士で助け合って営んだといわれています。



吉川邸（昭和初期撮影）



Izutsu-ya
Ikuno
Machizukuri
Kobo



Facebook



HP

◎交通アクセス
[車] 姫路から約1時間、京阪神から約2時間、福知山・綾部から約1時間（播但連絡道路経由）
[鉄道] 姫路から約1時間、京阪神から約2時間15分、福知山から約1時間15分（JR播但線生野駅下車、徒歩約15分）

生野まちづくり工房



Izutsu-ya
〒679-3301 兵庫県朝来市生野町口銀谷640
Telephone & Facsimile 079-679-4448
http://sasayuri-net.jp/users/izutsu-ya
E-mail: izutsu-ya@sasayuri-net.jp
◎入館無料 ◎開館時間：午前9時～午後5時
◎休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）及び年末年始